



# 碧南ロータリークラブ週報

第2284回例会 平成17年9月21日(水)

●会長 岡田 超勇 ●幹事 亀山 裕一 ●SAA 長田 豊治

■例会日 毎週水曜日 12:30 ■例会場 碧南商工会議所ホール

■事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)

■会報委員 杉浦昌裕・角谷信二・清澤聰之・岡本明弘

## 超我の奉仕

2005~2006年度  
国際ロータリーのテーマ



### ● 齊唱

ロータリーソング「今日も楽し」

### ● 本日のメニュー

和風弁当 小伴天



岡田超勇会長

### 会長挨拶

みなさんこんにちは。本日はビジターはございません。卓話は会員の新美雅浩君です。宜しくお願い致します。

先週まだ暑いと言ってましたが今日は少しいいかなあ。最近、朝晩は涼しくて過ごしやすいかなと思っています。

万博も今日を含めて後5日でございます。当初の目標数1500万人が、もう2000万人を超えております。最終的にはどの位になるのかなと一応期待したいと思っております。剩余金も100億円以上の見込みがたてられておるそうです。

ロータリー館の方も皆さんの方からも沢山の寄付金を頂きましたが、何となく無事に終われると思っております。

閉幕に際しまして前日の24日ですが、地区役員の方・各クラブの会長・幹事さんにパーティーの案内を頂きました。私は都合がつきませんもので亀山幹事には出席頂きまして、幹事報告か何かの席で報告があると思います。

各会場も終わりますと、インターネット等で各部分がオークションされて欲しい人に売られるようです。最初のころは大変長く感じましたけれども、過ぎ去ってみるとあっという間かなと思っております。たいした事件・事故が無くて何よりでした。 どうもありがとうございました。

### 幹事報告

- 理事会及び他クラブの例会変更等は別紙幹事報告の通りです。
- ロータリーの友9月号に本年度RIのテーマ「超我の奉仕」に関するRI決議23-34の記事が出ていましたのでメールボックスに入れておきました。参考にご一読下さい。
- 当クラブではRIの公式機関誌ロータリアン誌（英文）を10部購入しておおり、9部を市内の高校、中学、市役所、図書館に毎月贈呈しております。事務局に1部ありますので興味のある方はご覧下さい。
- 別紙幹事報告に書きました通り少年野球の第25回ロータリー旗争奪戦が7月に開催され優勝、



亀山裕一幹事

準優勝チームに当クラブより賞品が贈られました。

- ・別紙の通り例会が変更になりますので宜しくお願ひ致します。
- ・次回例会は27日（火）に知立出雲殿で開催の4クラブ合同ガバナー公式訪問になります。開催日、場所が変わりますのでお間違いの無い様にお願い致します。尚、ガバナーエレクトより来年の公式訪問は一色クラブと2クラブ合同で行う旨の連絡がきております。

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数 77名 (内出席免除者 15名)	出席者 62名
出席対象者 52／62名	出席率 83.87%
欠席者15名(病欠者0名)	前々回修正出席率 100%

### 〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

- 中山 寛三君 皆出席記念品有り難うございました。
- 岡島 淳一君 先週水曜日に更生病院で、不整脈治療のため心臓の一部を焼き手術をしました。  
翌日退院で、誠にあっけないものでした。 医学の進歩にバンザイです。
- 杉浦 健次君 安城市の区画整理事業に伴い丸八重整備安城工場を新築改装することができました。 9/23～24の2日間安城工場にてオープニングイベントを行いますので、どうぞお気軽に立ち寄り下さい。今後ともどうぞよろしくお願いします。
- 池田 弘孝君 兄の葬儀に税友会、税理士会の皆様に大変お世話になりました。
- 竹中 義雄君 明日9/22より一週間、ブラジルサンパウロへ行って来ます。トイレ掃除の世界大会、まさか地球の裏側まで行くとは思っていませんでした。  
帰国報告改めてさせて頂きます。
- 伊藤 正幸君 さきの日曜日に行われた9月度ロータリークラブゴルフ例会においてグロス78、ぶっちぎりで優勝させて頂きました。快感・・・。
- 新美 雅浩君 本日の例会の卓話をさせて頂きます。よろしくお願ひ致します。

## 卓 話

会員 新美雅浩君

私は1961年の2月に、当クラブのメンバー新美孝の長男としてこの世に生を受けました。ちなみに、私が生まれた年の翌年には現在の私の勤務先であります碧南トヨタ株式会社が亡くなった祖父の新美惣右エ門の手により設立され、創業しております。

私は学校を卒業して、昭和58年に旧トヨタ自工と旧トヨタ自販が合併した新生のトヨタ自動車に入社しました。就職活動をするにも自分の大学の先輩は商社や証券や金融関係が多く、メーカーでトヨタとなると極めて在籍者が少なかったので先輩を訪ねるのに結構、大変な思いをしました。学校が東京にありましたので、東京支社の人事部から連絡を頂き、結局、3回ほど面接を受けて何とかすれすれで内定を頂きました。

トヨタ自動車には今の会社に入るまで通算で10年ほどごやっかいになりました。最初、配属される前に7ヶ月間の工場実習とセールス実習が組まれていました。工販合併後の最初の新卒採用でしたので研修プログラムも期待を込めてか、結構、ハードなスケジュールで行われたようです。特に昼夜勤2交替の3ヶ月間の工場実習がありましてその配属先が、当時、世界で最も量産する最速のラインと言われた高岡工場のカローラの組立ラインでしたので、毎日が地獄のようでしたが、3ヶ月目の終盤くらいでようやくラインのスピードに自分からだが合い、それこそ歯車が



かみ合うようになっていきました。これで自分もトヨタの最速ラインをいっぱいに受け持つことができるんだとひとつの自信が持てたことを今でも憶えています。

現場実習を終えた後は、それぞれが地元の出身地に戻り、近くのディーラーで同じく3ヶ月間、実際に訪問販売しながら車を売っていくセールス実習が始まりました。セールス実習は地獄のような現場実習と違い、体力的には天国の様な気分でしたが、精神的には大変、疲れました。すべて飛び込み訪問で毎日、訪問先の日報は必ずこと細かくチェックされましたのであまり手抜きもできず、古そうな車が置いてある家を狙って自転車でフラフラと一日中、走り回っていました。

その頃、毎日、たんぽや畠の中を走っていたため、目が異常にかゆくなったり、鼻がズルズルするようになり、当時はまだ言われていたかったんですが、初めていわゆる、アレルギー性の鼻炎なるものを発症し、それから以後、毎年、お付合いすることになりました。

その後、研修を終えて本社に戻って配属希望を出すのですが、結果的には、名古屋支社の部品物流部という旧自販にあった部署に配属されました。ちょうどその頃、2つ上の姉が名古屋支社で総務部長の秘書をしていたので、兄弟で同じ会社に席を置くということになりました。仕事の内容は、自動車のサービスパーツである、補給部品の必要数を決めて大小約200社あまりの仕入先に発注して、物流倉庫で在庫管理しながら、国内と海外のお客様にジャストインタイムでお届けするという仕事で当時で15万点程の補給部品を1部署で管理していました。ただ、1部署と言っても名古屋のビルだけで150人くらいはいました。当時、全ての管理業務が旧自販のなごりで名古屋支社で集中的に行われていたため、なるべく現物に近い所で現物を見ながらやるべきだという方針が出て、数年をかけてその機能を逐次、現場の拠点（飛島、上郷、稻沢、春日、大口）に移していくことになりました。それと同時に大規模なシステム変更も行っていったため、私もそのようなことの端くれをずっと携わらさせて頂き、他の同期入社のものに比べ、最初の配属部署に長く居座ってしまうことになってしまいました。

その後、入社8年後によく異動がない、本社の購買部門に移ることになりました。私は協力工場であるボデーメーカーが作る車体の値決めと仕入先管理をやらせていただくことになりました。私は当時、アラコさんを担当させていただき、今、実際に走っているコースター や ランドクルーザーの製造原価の値決めをやっていました。私が購買部門に異動した時はバブル崩壊後の後遺症の荒療治をやっている最中で、社内にも購買部門は仕入先の原価を下げると他部署からやり玉に上がっていました。トヨタの購買部門で3年ほどお世話になり、33才で今の会社に入り、12年経って現在を迎えております。

私は中学1年の担任をしていただきまし先生が、吹奏楽部の顧問であったこともあり、中学では吹奏楽部に入り、サックスを3年ほどやっていました。その後、高校では剣道をかじり、大学に入った時にもう一度、楽器をやりたいなと大学のオーケストラ部の門を最初に叩きましたが、ベテランの楽器経験者が大半だったので早々に諦めて、たまたま隣の部室がサックスができるジャズバンドでしたのでそこに入部し、以後、20年以上、ジャズと向き合うことになりました。

ジャズと言っても自分がやっていたのはビックバンドジャズと言われるものでアメリカの進駐軍が日本を占領統治した時に米軍兵の癒しに当時のバーやキャバレーで盛んに演奏された18名編成のジャズのオーケストラで本場のアメリカでもどちらかというと白人が作り、白人の中で好まれていた音楽だったかと思います。ただ、日本ではジャズオーケストラがプロとして単独で演奏して飯を食っていくのは、極めて困難で大半が歌謡曲のバックやダンスマジックをやりながら食っていたようです。自分も学生の頃は企業のダンスパーティに呼ばれ演奏のお手伝いをさせて頂き、よく小遣いを稼いでおりました。

大学で4年間どっぷりとジャズにつかり、トヨタに配属先が決まった後、名古屋勤務の時代にまたできるところはないかと探してたまたま見つけたのが今、入っている社会人バンドでした。

今年で結成、30年を迎えたのですが、これまでたまたま運が良く、アメリカに2度ほど演奏旅行をすることができました。ジャズの本場アメリカで一流のプロのプレーヤーと一緒にステージに立って演奏でき、97年のモントルージャズフェスティバルというジャズ界では世界的なお祭りのひとつに参加できたことが今でも一生の思い出のひとつになっています。またそれがきっかけとなって毎年、5月のゴールデンウィークには自分たちの主催するコンサートにアメリカからプロの演奏家を招いてジョイントコンサートをする企画をしておりまして、アマチュアバンドではとても充実した、恵まれた活動を毎年、やらさせて頂いております。

次回例会案内 平成17年10月5日（水）

インフォーマル・ミーティング

17：30～ 小伴天